

平成25年度（2013年度）日本留学試験

日本語

（125分）

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聴読解・聴解の四つの部分に分かれています。それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～31
聴読解	33～47
聴解	49～52

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聴読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 , , , …がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*						
名前													

記述問題

説明

記述問題は、二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで、記述の解答用紙に書いてください（解答用紙には、テーマの番号を書く必要はありません）。

文章は横書きで書いてください。

解答用紙の裏（何も印刷されていない面）には、何も書かないでください。

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください
(句読点を含む)。

- ① インターネット上には、自分の本当の名前を出さないで意見や情報を載せることができます。そこにはよい面がある一方で、問題が起きることもあります。

インターネット上に自分の本当の名前を出さないで意見や情報を載せることの利点と問題点を説明し、あなたの意見を書いてください。

- ② 日本の小学校では、子どもたちに、文字や計算、科学知識や歴史上のできごとなど、多くのことを覚えさせる教育を行ってきました。しかし、最近では、もっと考える力を育てたほうがよいという意見も出てきています。

小学校で多くのことを覚えさせる教育の利点と問題点を説明し、あなたの意見を書いてください。

——— このページには問題はありません。 ———

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1, 2, 3, 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 次の文章で、筆者は、「あいさつ」とはどのようなものだと述べていますか。

1

人と人が出あうとあいさつをする、とよくいわれる。しかし、これはとんでもない誤解である。もしそうなら、都会の雑踏のなかでは無数のあいさつが生まれるはずだ。

けれども現実には、人がたがいに隣りあわせても、いやぶつかりあってさえも、ことばも会釈もかわさないという経験は少しもめずらしくないだろう。

あいさつと出あいとの関係は、ほんとうはむしろ正反対なのだ。つまり、人が出あうとあいさつをするのではなく、あいさつをするから出あいが生まれるのだ。

それはどんなことばであってもよい。目礼や、かすかな会釈、一瞬のほほえみなどの相互確認の身ぶりであってもよい。なんらかのあいさつがかわされるときはじめて、人と人がその場で束の間^{つか}かかわり、たがいに社会的な交渉相手としてみとめあう出あいというものが生じるのだ。

(野村雅一『しぐさの人間学』河出書房新社)

1. 人と街で出あったときにするもの
2. 人との社会的つながりを生み出すもの
3. 知り合いとだけするもの
4. ことばによってかわされるもの

II 次の文章で、筆者が述べていることはどれですか。

2

美術館は、作品を展示し人々に公開するという役目を有しているが、一方で作品を安全に保存することも求められている。しかし、美術館の担うこの二つの使命は、時に矛盾するものである。どんなに注意深く取り扱っても、全く作品を劣化させないということは、かなり難しい。特に、長期間の展示公開は、作品を傷めてしまいがちである。美術作品を社会に広めようとする美術館が、その破壊に加担してしまうという、非常に皮肉な現実がある。

重要な作品の保存を優先するならば、公開するべきではないという意見もあるであろう。本物は展示せず、その代わりに、模写や模造品などを展示すればよいという意見もあるであろう。われわれは、このような意見に対して、明確な反論ができない。

(並木誠士他『美術館の可能性』学芸出版社 を参考に作成)

1. 美術館は、作品の保存よりも展示公開に力を入れるべきである。
2. 美術館で模写や模造品を展示するのは、本来の目的から外れている。
3. 美術館の一番の使命は、美術品を傷めることなく後世に残すことである。
4. 美術館の重要な作品は公開せずに保存すべきだ、という意見を無視できない。

III 下線部「人工林が誕生した」理由として、最も適当なものはどれですか。

3

木の文化を^{はぐく}育んできた私たち日本人にとって、森から収穫される木材はなくてはならない大切なめぐみの一つである。ただこの恩恵を受けるには、伐採という森林の破壊行為は避けられない。日本列島のような温暖で、しかもほどほどの降水量に恵まれているところでは、たいていの場合、伐採された跡地は自然力によって植生が繁茂し、やがては森林に覆われてしまう。しかし、自然力による森林の再生過程はゆっくりと進み、長い年月がかかるため、時として人間が期待する森林利用のタイム・スケジュールと合わない。そのために人手をかけても再生の時間を短縮して、利用価値の高い森をつくろうとの発想から、人工林が誕生した。

(小林正吾「森をつくる」全国大学演習林協議会編『森へゆこう』丸善)

1. 自然力による森の再生では、木材の需要に追いつかないから
2. 自然力による植生に任せると、木材の種類が限られるから
3. 自然に生育している木を切ることは自然破壊につながるから
4. 人の手で森林をつくることで、質のよい木材を供給できるから

IV 次の文章で、筆者が述べていることはどれですか。

4

21世紀に入ってから人口減少は、日本の経済成長率をかなり下降させるはずである。そこで、「これからの10年、20年に成長率はどのくらい下がるのか」を考えてみることにしよう。

ただし、はじめにはっきりさせておきたいが、成長率の低下を^{おそ}怖れる必要はない。かりに経済が成長するのをやめて一定水準で動かなくなったとしよう。そのとき人口が一定なら一人当たり*GDPも一定であり、また人口が減少していれば一人当たりGDPは増大する。ここで、日本の一人当たりGDPはすでに世界でも有数の高さになっていることを思いおこせば、それを一定に維持できるのなら悪い話ではない。同じ金額のGDPであっても、その中身を変えていけばゆとりある生活は実現できるはずである。

(石山嘉英『超高齢化社会の経済学』日本評論社)

*GDP：国内総生産。国内の経済活動の水準を表す指標

1. 将来的に経済成長率が上がらなくても、それを心配する必要はない。
2. ゆとりのある生活の実現には、経済成長率の上昇が必要である。
3. 人口が減少すれば、経済成長率が上がっていくはずだ。
4. GDPを一定に維持するためには、人口が増えることが期待されている。

V 次の文章で、筆者は、ユーモアのセンスについて、どう述べていますか。

5

人はしばしば、素晴らしいユーモアのセンスの持ち主という誉め言葉を用いる。これほど一般に評価される特質でありながら、私たちはなぜ、自分自身にそれがそなわっているかどうか、問いかけようとはしないのだろう。そして、自分にそれが欠けていたら、なぜ欠けているのか、そして何か打つ手はないものかと、考えないのだろう。打つ手はあるし、打つべきである。

私の理論を裏付ける科学的な根拠があるわけではないが、ユーモアのセンスは人が生来そなえていたり、いなかったりするものではないというのが私の考えである。それに、意図的に養うことが不可能な特質でもない。精神とその潜在能力についての、私のささやかな研究から推察すると、私たちはみなその気になりさえすれば、ユーモアのセンスを芽ぶかせ、美しい花を咲かせることができる。私たちの日常生活をもっと軽やかにすることができたら、そして世のなかの陰鬱な面を明るくすることができたら、どんなに楽しいだろう。

(G・キングスレイ・ウォード (城山三郎訳) 『ビジネスマンの父より娘への25通の手紙』新潮社)
©1989 BY G. KINGSLEY WARD

1. ユーモアのセンスは、生まれつきのものである。
2. ユーモアのセンスは、意識的に身につけられるものである。
3. ユーモアのセンスは、日常生活に必要なものではない。
4. ユーモアのセンスは、他人に評価されるものではない。

VI 素材産業について、次の文章の内容と合っているものはどれですか。

6

商品には寿命がある。既存品を上手に使いこなしても、やがて製品としての役割を終え、廃棄物になる時期がくる。その時、廃棄物を集め、解体して再資源化するサービスが必要になる。この役割を担う産業として浮上してきたのが、素材産業である。素材産業はもともと鉄、銅、アルミニウム、金、銀など、様々な工業製品の原材料を供給するため、鉱山開発などの名目で自然を破壊してきた。最近では、地下資源の枯渇化が急速に進む一方、環境が重視される時代のなかで衰退へと向かっていた。しかし素材産業が持つ製錬技術など様々な技術が廃棄物の再資源化に役立つことが分かり、リサイクル産業として循環型社会形成の重要な一翼を担うようになってきている。

(三橋規宏『環境再生と日本経済』岩波書店)

1. 廃棄物を処理するために誕生した産業である。
2. 廃棄物を処理するために自然を破壊してきた。
3. 製錬技術などがリサイクル産業に活用されるようになった。
4. 新たな製錬技術を開発できずに、衰退してしまった。

VII 次の文章で、筆者が最も言いたいことはどれですか。

7

人間は社会なるものをつくり社会生活をするので生き延びることができた。そして、人間は社会生活を営むことによって様々な進化を遂げ、いま私たちがもっているような能力を身につけ、高度な文化を創り上げてきたのだとされる。その意味で、人間は社会的動物の最たるものであると言われている。このようなことは誰もがほぼ常識として知っていることである。

ところが、人間が日々営んでいる社会生活なるものがどのようなものなのか、社会生活をスムーズに営むためにどのような能力が必要なのか、といったことを気かけ知ろうとしている人はごく稀である。ましてや、社会生活を営むために人びとが使っている能力がどれほど高度なものなのか、毎日ごく当たり前のように用いている能力を自分がどのようにして身につけたのかを意識しており、詳しく説明できる人はほとんどいないと言っている。さらに言えば、人間の社会生活を学問の対象にし分析しているはずの社会学者も、肝心の社会生活の中身を丁寧に記述し、社会生活を営むために人間が身につけ用いている諸々の知恵や能力を詳しく解説してきてはいない。「人間ならば誰もが社会生活を営むものだ」ということを端から前提にしているからである。

(門脇厚司『社会力を育てる』岩波書店)

1. 社会生活やそれに必要な能力に対しては、これまで関心が向けられてこなかった。
2. 人間が社会的動物の代表であることを常識として知っておかなければならない。
3. 社会生活を営むための能力は、人間であれば生まれつき備わっている。
4. 人間だけが社会生活を営むという考え方は間違っている。

VIII 次の募集案内の内容と合っているものはどれですか。

8

日本の中学生に、あなたの国の文化を紹介してみませんか

東中学校では、国際理解教育の一環として、自国の文化を紹介してくれる留学生を募集しています。

内 容 : あなたの国の習慣, 食べ物, 民族衣装, 遊びなどどんなことでも結構です。

日 時 : 11月5日(木) 13:00~13:45 または

11月12日(木) 13:00~13:45

対象生徒: 中学2年生1クラス約30人

応募資格: 1) 日本の大学, 専門学校に在籍している留学生

2) 日本語で説明できること

3) 事前に打ち合わせに来られること(30分程度)

応募方法: 紹介する内容をA4の紙1枚にまとめ, 履歴書と共に下記へ郵送してください。書類選考の上, 10月3日に結果を発送します。

応募〆切: 9月末日

謝 礼 : 市の規定に従って支払います。

〇〇市立東中学校 担当: 大山

〒123-XXXX 〇〇市本町3-5-12 電話: 042-XXX-1111 FAX: 042-XXX-1110

1. 外国の話が無料でしてくれる人を募集している。
2. 日本語が話せなくても応募することができる。
3. 採用は書類選考と面接試験によって決まる。
4. 生徒に話す内容は応募者が考える。

IX 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

9

人間は過去のあらゆる体験や学習経験を知識として体系化し、一瞬のうちに最良の行動パターンを選択し動作している。ロボットにはまだこれができない。つまり、人間が日常的に行っていることでもロボットにとってはきわめて難しいことがあるのだ。現在、人間とまったく同等の能力を持つロボットはまだ開発されていない。だが、人間の能力を補うことはロボットにも可能である。

例えば、ロボットは暗闇くらやみの中で遠くを見ることや、宇宙から自分の位置を確認することができる。人間の判断ミスを防ぐ能力もある。スピードをセーブして無謀な運転をやめさせることもできるだろう。

人間が、進化したロボットのような能力を持つ自動車を運転し、同時にそれに観察され助けられることが、お互いの利点を最大限に生かした方法である。つまり、両者が協力する関係が理想的なのである。

(原邦彦『進化する自動車』岩波書店 を参考に作成)

1. ロボットは人間以上の高い能力を持つべきだ。
2. ロボットは人間とまったく同じことができる。
3. 人間の日常生活にはロボットは欠かせないものだ。
4. 人間の足りない点を補うようなロボットが望ましい。

X 次の文章で、筆者が最も言いたいことはどれですか。

10

これまでのモノづくりは、技術が主役だった。確かに技術の進歩で暮らしは便利になり、日本は世界一のモノづくり大国になった。しかし限界も見えてきた。

高精度な地震計や通信網があるのに、なぜ震災で多くの犠牲が出るのか。医療技術が発達しても、医療*過誤をなくせないのはなぜか。縦割りの、単一の分野や技術だけでは解決しない課題が、社会にはたくさんある。

コトづくりは「……だったらいいな」と私たちが願う価値が主役だ。どうすれば実現するかを、分野の壁を越えて模索する。専門や技術は手段として働く。

発想の転換だが、言うほど簡単ではない。大学の学科からして縦割りで、学生は複数の分野を専攻できない。… (略) …

政治家は、初対面の相手と見れば必ず「選挙区はどこですか」と聞く。これが研究の世界だと「専門は何ですか」となる。ここから変える必要がある。

(元村有希子「コトづくり」毎日新聞2005年11月9日)

*過誤：誤り、あやまち

1. モノづくりの技術をこれまで以上に追求すべきだ。
2. 初対面の研究者に専門分野を聞くのはやめたほうがいい。
3. これからは専門分野に縛られないことが必要だ。
4. 現在の技術では解決できない問題がたくさんある。

このページには問題はありません。
次のページに進んでください。

XI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

自治体のしくみとして、二つの政治機関が置かれている。一つは執行機関を代表する首長であり、もう一つは議事機関としての議会である。議会には地域住民の意思と利益を代表し、条例や予算、主要な契約などを決定する役割と、それを執行する執行機関を監視する役割、さらに地域内の利害を調整し、地域社会をまとめ上げ安定させる役割がある。

同時に、議会は“民意を鏡のように反映する”住民参加の広場としての役割がある。本来、住民にとっての^よ拠り所は、執行機関ではなく、住民自治を^{つかさど}る議会であるはずだ。ひろく住民代表として選ばれ多数の議員から構成される議会は、地域のニーズ、職層のニーズ、年齢層のニーズ、性別の違いから生ずる住民ニーズを、幅広く自治体行政に反映させる住民の窓口であるからだ。

しかし、現実はどうも違う。様々なルートを通じて住民と向き合い、対話を深めているのは首長である。相談ごとは議員ではなく、執行機関に持ち込む。残念ながら、個別の議員はともかく、^{きかん}機関としての議会は組織的に住民との対話を進めている様相にはない。

(佐々木信夫『地方議員』PHP研究所)

問1 筆者の考えと照らし合わせた上で、議会の役割でないものはどれですか。

11

1. 予算や条例を制定する役割
2. 執行機関を監視する役割
3. 決定した予算を執行する役割
4. 民意を行政に反映させる役割

問2 この文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

12

1. 住民のニーズを行政に反映させるのは首長の役割である。
2. 議会には、住民からの相談事に応じる権限はない。
3. 議会は自治体の議事機関だけでなく執行機関でもある。
4. 今の議会は、地域住民の要望を反映させる窓口になっていない。

XII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

何かを達成するときには、まわりに依存し、その助けを借りることも重要なのだ。自立と依存に関するペラー博士の研究では次のような実験がおこなわれた。

何人かの生徒に課題を与え、そこに担当教師を一人つける。すると、(1)先生に質問する生徒と一人で黙々と考える生徒に分かれた。しかし、課題を達成したのは先生に質問した生徒だった。

… (略) …

マンションをつくっている建設会社で、(2)営業の女性社員がうるさくて仕方がないとこぼす上司がいた。しかし、うるさくても仕事はできるともいっている。

その女性は、どんなことでもすぐに上司や同僚に相談する。だから、何か問題が起こったとき、大きくならないうちに解決できる。

このように、まわりを巻き込んでいくと問題が早めに解決するし、みんながいろいろいってくれるので参考になるし、そこからいいアイデアも生まれてくる。

最悪なのは、自分一人で抱えていて、最後の最後になって、どうしたらいいでしょうかといってくるケースだ。

まわりに頼ると、まわりの人たちも参画意識をもち、頼ってくれたということでモチベーションも上がっていく。頼んだ本人も、目標達成までの筋道が見えてきて、これもモチベーションが上がる。上手に、周囲を巻き込むことも大事なのである。

(JTBモチベーションズ研究・開発チーム『やる気を科学する』河出書房新社)

問1 下線部(1)「先生に質問する生徒と一人で黙々と考える生徒に分かれた」というのは、
どういう意味ですか。

13

1. 質問する生徒の教室と、質問しない生徒の教室ができた。
2. 質問する生徒への教え方と、質問しない生徒への教え方が違ってきた。
3. 質問する役の生徒と、質問しない役の生徒をつくった。
4. 質問する生徒と、質問しない生徒がいた。

問2 筆者は、下線部(2)「営業の女性社員」をどのように評価していますか。

14

1. うるさくて他の人に迷惑をかける。
2. 問題を自分ひとりで抱えてしまう。
3. 周りの協力を求めながら問題を解決していく。
4. できないことでも自力で精一杯頑張る。

XIII 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

昆虫が海を渡る手段として、どのような方法があるだろうか。

一つは、海の上を海流に乗って流されていくというものである。その多くの場合は流木の内部に潜り込んで、海流に流されて海を渡る。移動は当然ながら海流の流れる方向によって決まる。

二つ目の方法は、空を飛んでいく方法である。羽のある昆虫が、上昇気流によって上空へ吹き上げられ、その後、季節風や台風などに乗って、他の地域に運ばれていく。気流の流れもまた海流と同じように決まった方向に向かうので、彼らの移動もまた決まった方向性を持っている。

三つ目として、鳥に寄生して海を渡るというもので、これも鳥の渡りの経路に従うことから、その移動の方向は決まっている。

このように、海流や気流に乗って海を渡る方法は偶然に左右されており、無事に海を渡りきれぬかどうかは不確かである。また、これら三つの方法はいずれも、移動の方向が決まっており、どこにでも好きに移動できるというものでもない。

ところが、人間が登場し船が発明され、運ばれる荷物やその梱包資材、あるいは人間に寄生することによって、昆虫は世界中へ無秩序に、また安全に海を渡れるようになったのである。もっとも、船に乗って移動する昆虫は、そのほとんどがもともと人間の身近なところに生息するもので、そうした昆虫には多くの害虫も含まれている。そして、天敵のない新たな土地に、このような害虫が繁殖してしまうことで被害をもたらすことがある。また、人間生活には被害をもたらさない昆虫たちも、移動先の土地の生態系を壊す場合がある。

(高橋敬一『昆虫にとってコンビニとは何か?』朝日新聞社 を参考に作成)

問1 人間が船を発明する前には、昆虫が海を渡る三つの方法にどのような共通点がありましたか。

15

1. 自力で海を渡らなければならない点
2. ほかの生物に頼らざるをえない点
3. 自分の行きたい方向に行ける点
4. 移動経路に制約がある点

問2 船によって海を渡る昆虫について、この文章の内容と合っているものはどれですか。

16

1. 移動先の土地まで無事に行き着けるかどうかは不確かである。
2. 移動先の土地の生態系に適応できずに死んでしまうことが多い。
3. 移動先の土地で、人間生活や生態系に悪影響をもたらすことがある。
4. 移動先の土地では、人間のいない場所に生息するようになる。

XIV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

かつての商店街には、ただの経済行為ではなく、一見無駄に見える交流の時間があったはずなのだ。その経済行為から離れた無駄な空間や時間が、地域の豊かな文化を^{はぐく}育ててきた。しかし、車で乗り付け、買い物だけを済ます機能的なショッピングセンターには、その無駄を許容する場所はない。インターネットによる通信販売などがさらにその勢いを加速するだろう。

かつては、地方にこそ、「無駄」なもの、「無駄」な時間、「無駄」な空間が^{あふ}溢れていたはずだ。伝説、伝承、お化け、*鎮守^{ちんじゅ}の森、祭り……。しかし村落共同体が崩れ、全国一律の近代化を達成した現代日本においては、そんな無駄なものは、どこを探しても見つからない。神話や伝承は、すべて人類学者の調査するところとなり、貴重な風習だけが「文化財」として手厚く保護されていく。祭りは^{けいがい}形骸化し、観光客集めのためのイベントと化する。だが無駄な場所や時間を失った地域は、価値観も画一化し、重層性を失って安定性を欠く。

**バブル経済、あるいはそれ以降の不況が、全国一律で起こり、国民の精神を一様に狂乱や沈滞へと巻き込んでいるのは、まさに社会が重層性を失い危険な状態にあることを示している。

(平田オリザ『芸術立国論』集英社)

*鎮守：一定の地域・建造物などを守護するためにまつられた神

**バブル経済：株式市場などが実際の経済以上に高騰している状態。日本では1980年代末から1990年代初めの経済状態を指す

問1 下線部「その勢い」が指す内容として、最も適当なものはどれですか。

17

1. 地域が商店街のような交流の場をなくしていくこと
2. 経済行為の機会がさらに増していくこと
3. 販売方法が多様化していくこと
4. 地方の都市が近代化していくこと

問2 この文章で筆者が最も言いたいことはどれですか。

18

1. 「無駄」な空間や時間を確保することは、地方を経済的に活性化させる。
2. 「無駄」な空間や時間が価値観を多様化させ、社会の安定に役立つ。
3. 伝統行事が形骸化することで、「無駄」な空間や時間が増えていく。
4. 地方が近代化するためには、「無駄」な空間や時間をなくすべきだ。

XV 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

「食」とは栄養という環境資源の取り込みを行うことであるが、例えば植物の葉による太陽エネルギーの吸収は「食」とはいわないだろうし、植物が根から養分を吸うのもふつう「食」とはみなされない。一方において、食虫植物の「食」には、捕獲したり誘ったりという獲物に対する一種の能動性が含まれている。…（略）… つまり、食は本質的に能動的な行為なのである。

栄養は、タンパク質にしても炭水化物にしても、そのまま純粹に「それ自体」として環境に転がっているわけではなく、ふつう動物や植物という「生き物」の形をとって存在している。つまり食とは、他の生物に能動的にかかわってその生命体の全部または一部を取り込むことにほかならないのである。

他の生き物の体を取り込むといっても、相手はそう簡単に食べられてくれるわけではない。生物によっては、逃げ足が早かったり、保護色や*擬態をもっていたり、固い殻やトゲや武器をもっていたり、あるいは毒を含んでいたりして、相手に食べられまいと必死に抵抗している。そして食べる側は、その抵抗を何とかして打破しようとする。食べるとは本来、抵抗する相手に対し、何をどう手に入れ、それを体内に取り込むかという、生物間の涙ぐましい駆引きなのであり、それをより効率的に行おうとするところに進化や文化の関与が認められる。

（根ヶ山光一「行動発達の観点から」今田純雄編『食行動の心理学』培風館）

*擬態：動物の色や形が周囲の状態や他の生物に似ること

問1 下線部「それをより効率的に行おうとするところに進化や文化の関与が認められる」ことの例として、最も適当なものはどれですか。

19

1. 人が魚に種名をつけて区別すること
2. 人が希少な種類の魚を保護すること
3. 人が魚を鑑賞するために水族館をつくること
4. 人が魚を捕獲するための道具をつくること

問2 筆者は「食」をどのようにとらえていますか。

20

1. 食とは、タンパク質と炭水化物を栄養素として取り込むことである。
2. 食とは、エネルギーや養分を環境から取り込むことである。
3. 食とは、植物以外のすべての生命体を取り込むことである。
4. 食とは、抵抗する他の生物を能動的に取り込むことである。

XVI 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

私にとって建築のデザインを始める時の最初期のイメージは実に頼りないものである。多くの場合それは、深い霧の中でものを見ているように、もやもやと曖昧^{あいまい}で輪郭がない。この輪郭がないのが私の原イメージの特徴かもしれない。… (略) …

初期のイメージは正^ましく雲をつかむように曖昧なものであるが、全く根柢のないものでもない。普段から考えている建築のコンセプトにどこかで通じているし、それ以前に考えた建築から何らかのヒントを得ているとも言える。そして多くの場合、私の原イメージは自然現象として現れる。静かな水面に生じて次第^{ひろ}に拡がっていく波紋とか、森の木立ちの間にさし込んでくる木もれ陽^ひやその間を緩やかに吹き抜けていく風、といったイメージである。それらは大方流動している現象で、どこまでも無限に連続していく。いずれもきわめて個人的なイメージでしかない。

建築をデザインする行為は、この曖昧で移ろい易^{やす}い個人的なイメージを社会のなかに位置づけ、人々が共有し得る存在へと置き換える作業である。

(伊東豊雄「メモに秘められた力」)

日本建築家協会 関東甲信越支部 建築交流部会監修『建築家のメモ』丸善)

問1 建築家である筆者が、デザインをする初めの段階でイメージすることとして、最も適当なものはどれですか。 21

1. 陽光や風などの自然の風景
2. 他の建築家が以前に考えたデザイン
3. 社会のなかで建築物が共有されている様子
4. 建築物に人が住んでいる様子

問2 筆者は、建築をデザインすることはどのようなことだと考えていますか。 22

1. 以前に考えた建築のコンセプトを消して、初めから作り上げていくこと
2. 個人的なイメージを大切に、個性的な建築を作り上げていくこと
3. 個人的で曖昧あいまいなイメージを、他の人々にもわかる形にしていくこと
4. 最初からはっきりとした形としてイメージしていくこと

XVII 次の文章は、科学（基礎科学）と*応用科学の違いについて述べたものです。読んで、後の問いに答えなさい。

昔、ある村に村長がいて、1, 2, 3, 4という四つの数字を使って四則演算（足し算、引き算、掛け算、割り算）で10にしたそうである。そこで伝記作家は、村長がどうやって10にしたのかを伝記に書こうとして、自分で計算をしてみた。すると、四つの数字を全部足せば、10になることがわかり、伝記には「村長は四つの数字を全部足して10を作ったのであろう」と記した。

ところが後に村長の残したメモが発見され、じつは村長は3を2で割ってから1を足し、最後に4を掛けて10を作ったことが明らかになった。(1)伝記作家は伝記を修正しなくてはならなかった。

もし10を作ることだけが目的なら、伝記作家の方法で十分である。いやむしろ、伝記作家のやり方のほうがシンプルでよいだろう。村長のような面倒なことをあえてする必要など何もない。

これは工学や医学のような応用科学の考え方である。たとえば、医療のために人工骨を作る場合は、とにかく骨として役に立つものができればよいのである。実際に生物が成長の過程でおこなっていることを、すべて真似る必要はない。それどころか、骨である必要もない。場合によっては、木の棒でも鉄の棒でも、とにかく骨として役に立てばよいのである。

とにかく10を作ればよいのだ。そして願わくは、シンプルな方法のほうが望ましい。

しかし、村長の伝記には、やはり事実を書くべきだろう。10を作る方法はたくさんある。村長の方法よりシンプルなものが何通りもある。しかし、たとえ面倒なやり方であっても、実際に村長がしたやり方をあきらかにしなくてはいけない。ベストを追求したいのではなく、現象を認識したいのだ。これが科学の考え方である。…（略）…

骨の形成メカニズムを研究するときは、とにかく生物が実際にどうやって骨を作っているのかを知ろうとするのだ。それがベストなやり方かどうかは、とりあえず問題にしない。

…（略）… 科学者なら実際に村長がどういうやり方で10を作ったのかを知りたいと思う。**カンブリア紀の遺伝子さがしも、それと同じようなことだろう。とにかく（生物もふくめて）(2)自然が実際にどうなっているか、またはどうなっていたかを知りたいのである。

（更科功『化石の分子生物学』講談社）

*応用科学：科学（基礎科学）の知識を実用的な目的に応用しようとする研究分野

**カンブリア紀：今から約5億4千万年前から4億9千万年前までの期間

問1 下線部(1)「伝記作家は伝記を修正しなくてはならなかった」とありますが、その理由として、最も適当なものはどれですか。

23

1. 村長の10の作り方よりシンプルでやさしい方法が見つかったから
2. 村長の10の作り方が伝記作家の考えていたものと異なっていたから
3. 村長の10の作り方は計算が違っており、10にならなかったから
4. 村長は10の作り方を1種類ではなく実際には2種類発見していたから

問2 筆者は、応用科学の考え方では、人工骨を作る場合にどんなことを最も重要視すると述べていますか。

24

1. 骨として機能するものを作ること
2. 本当の骨と全く同じ過程で作ること
3. 木の棒や鉄の棒で骨を作ること
4. 面倒でも時間をかけて作ること

問3 下線部(2)「自然が実際にどうなっているか、またはどうなっていたかを知りたいのである」とありますが、これはどの考え方にあたりますか。

25

1. 科学の考え方
2. 応用科学の考え方
3. 面倒なことをする必要はないという考え方
4. シンプルな方法がよいという考え方

——— このページには問題はありません。 ———

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポーン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポーン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1 番の前に、一度、練習をします。

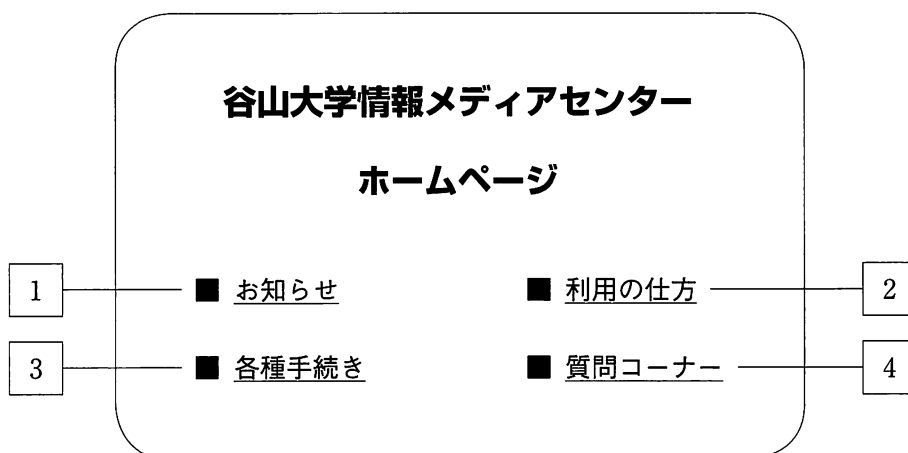
理問答

問答

聴読解問題

練習

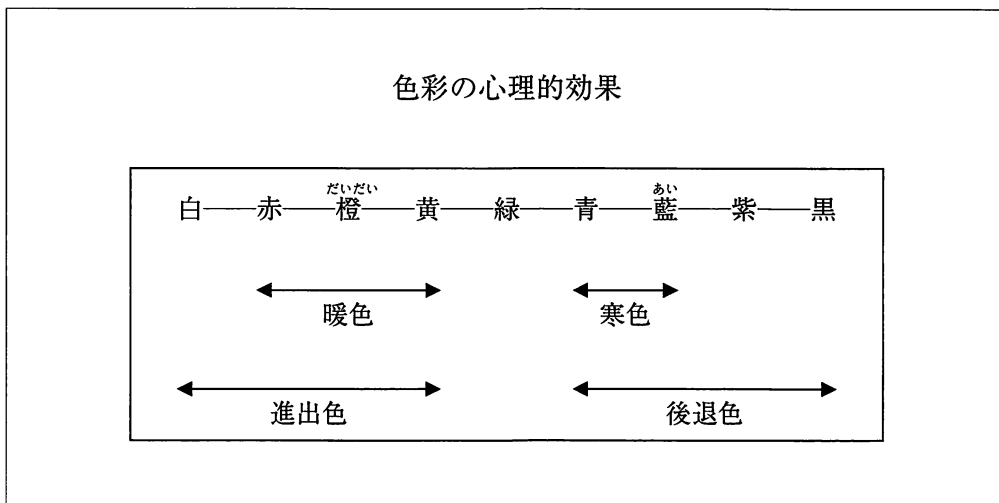
学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。



1 番

先生が、色が人間の心理に及ぼす効果について話しています。この先生が最後に言っているのは、色彩のどのような心理的效果ですか。

1



(齋藤勝裕『光と色彩の科学』講談社 を参考に作成)

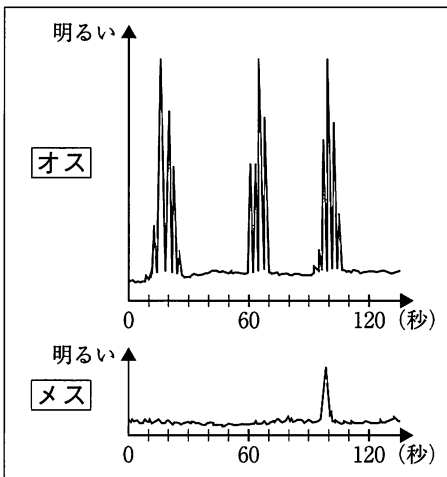
1. 赤や黄色が暖色であること
2. 青や藍色が寒色であること
3. 赤や黄色が進出色であること
4. 青や藍色が後退色であること

2 番

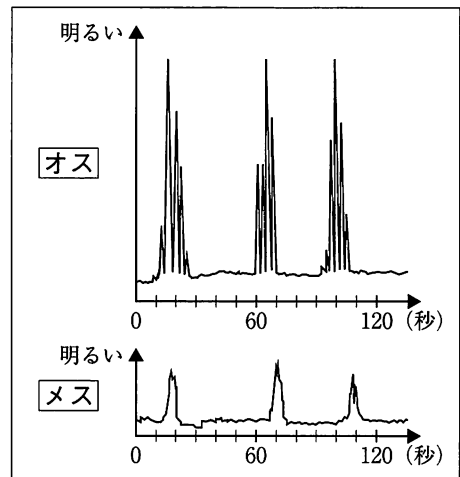
先生が、生物学の授業で、ゲンジボタルというホタルの発光パターンについて話しています。この先生が話している発光パターンをグラフで表すと、どのようになりますか。

2

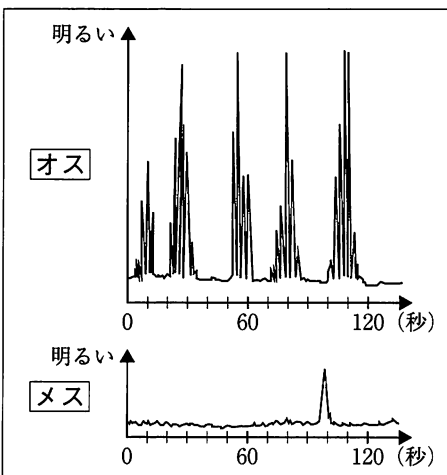
1.



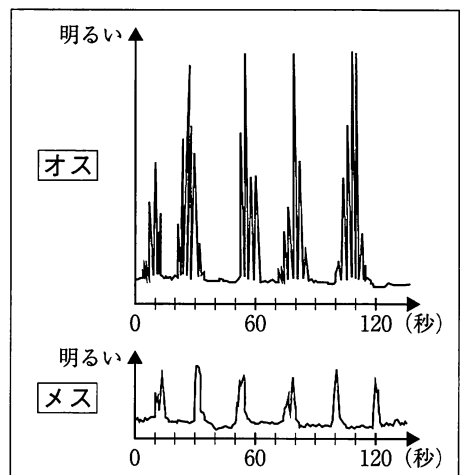
2.



3.



4.

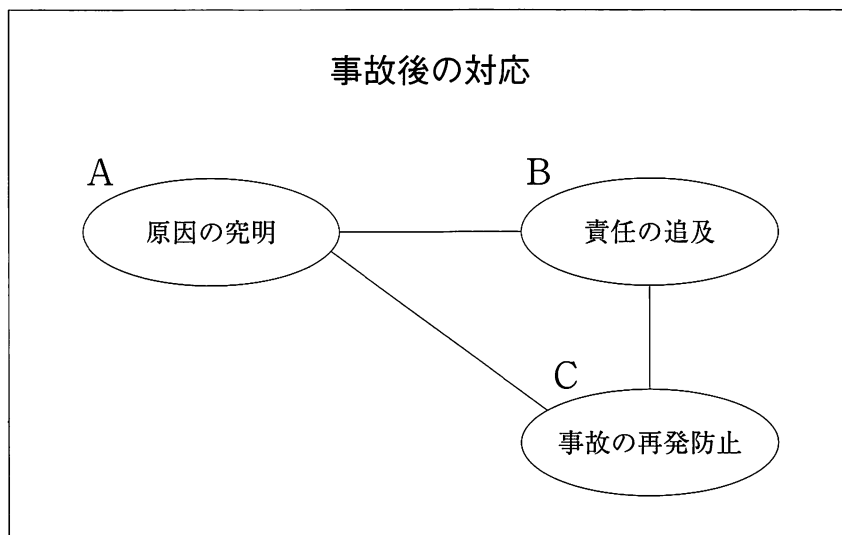


(矢島稔『謎とき昆虫ノート』日本放送出版協会 を参考に作成)

3 番

先生が授業で、事故の原因究明と責任追及について話しています。この先生が必要だと言っている機関の役割は何ですか。

3



(畑村洋太郎『危険学』ナツメ社 を参考に作成)

1. Bを目的に、Aを行うこと
2. Cを目的に、Aを行うこと
3. BをCに役立たせること
4. A B Cを連携させること

4 番

男子学生と女子学生が、コンビニエンスストアの24時間営業を規制することについて話しています。この男子学生は、グラフのどの項目と同じ意見だと言っていますか。 4

★コンビニの24時間営業を規制することに賛成ですか。

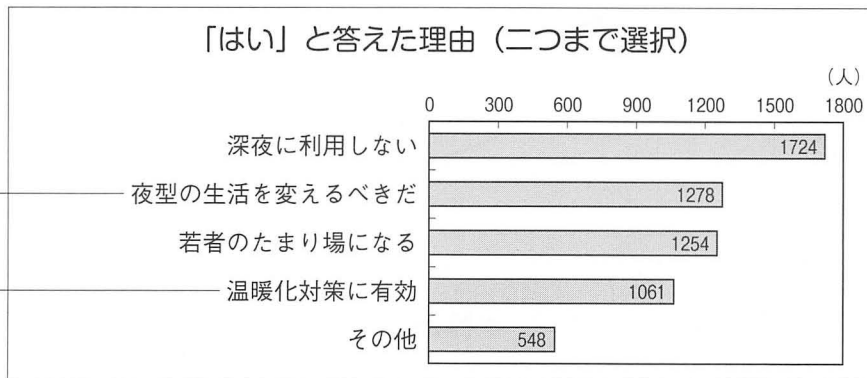
(回答者数4278人)

はい：75%

「はい」と答えた理由（二つまで選択）

1

2

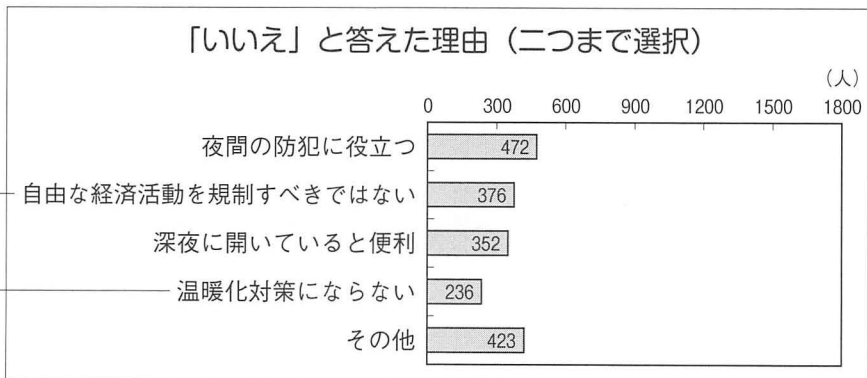


いいえ：25%

「いいえ」と答えた理由（二つまで選択）

3

4

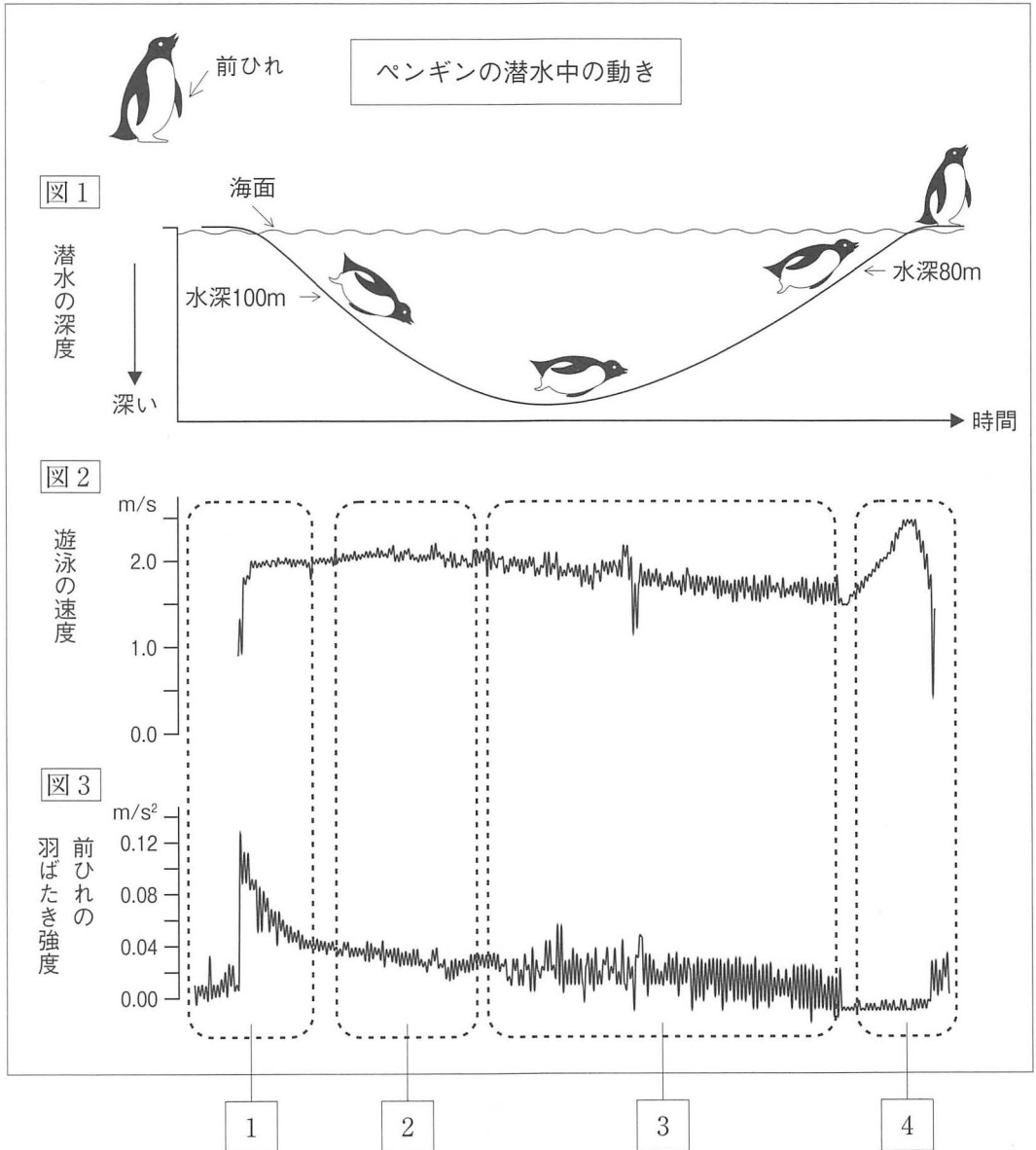


(渡部薫「be between」朝日新聞2008年9月6日 を参考に作成)

5 番

先生が、ペンギンの潜水中の行動を調べた結果、新たな発見をしたと話しています。この発見は図のどの部分から得られましたか。

5

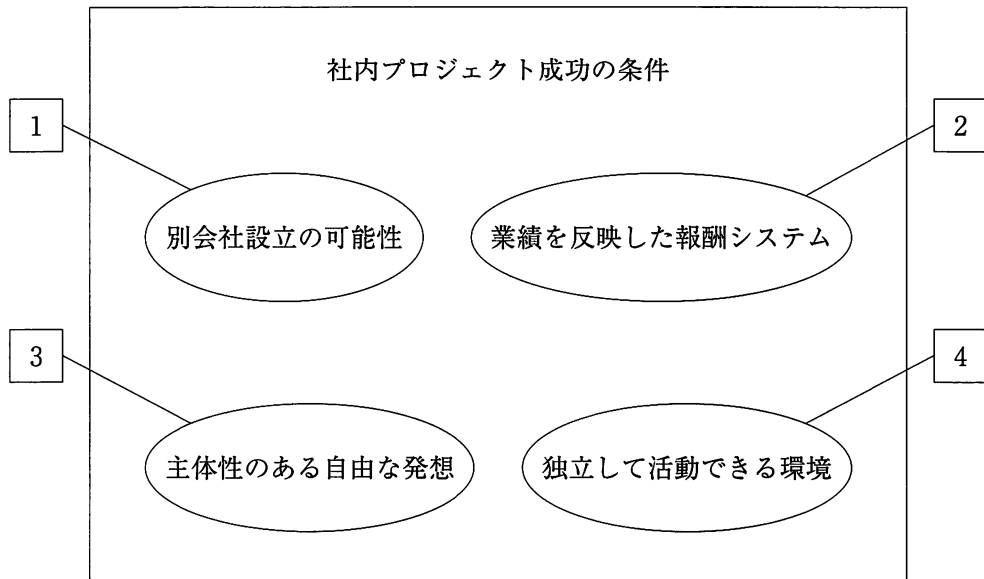


(佐藤克文『ペンギンもクジラも秒速2メートルで泳ぐ』光文社 を参考に作成)

6 番

経営学の先生が、「社内プロジェクトの成功の条件」について話しています。この先生が、重要性を強調している条件はどれですか。

6



7 番

先生が、動物をしつける方法について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

7

動物をしつける方法

	与える	与えない
動物にとって 好ましい結果	報酬	罰
動物にとって 好ましくない結果	罰	報酬

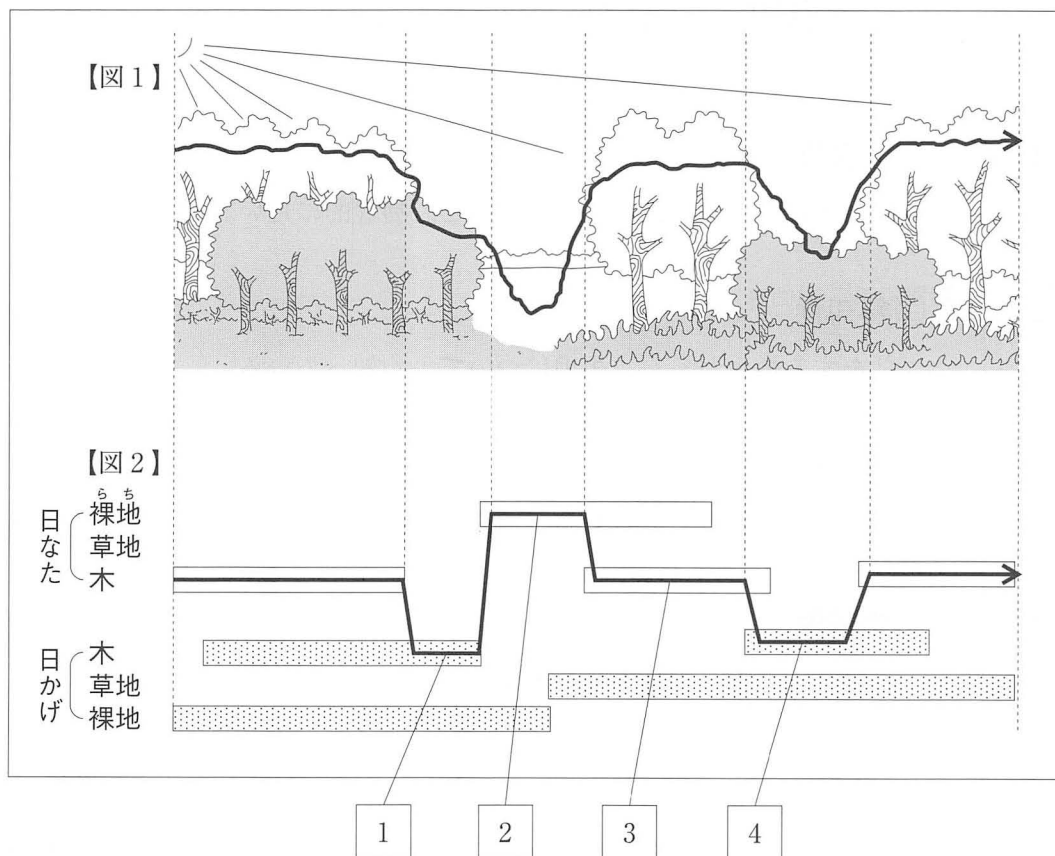
(川添敏弘『アニマル・セラピー』駿河台出版社 を参考に作成)

8 番

先生が、アゲハチョウの飛びかたについて話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

8

アゲハチョウ



(日高敏隆『チョウはなぜ飛ぶか』岩波書店 を参考に作成)

9 番

男子学生と女子学生が、授業で配られたプリントを見ながら、人が人を好きになるきっかけについて話しています。女子学生が疑問を感じたのは、プリントのどの部分ですか。

9

相手に魅力を感じるきっかけ

- 1 ○近接性
：同じアパートの隣に住んでいるなど、物理的に近い。
- 2 ○熟知性
：話をする機会が多く、相手についてよく知っている。
- 3 ○類似性
：趣味など、共有できるものがある。
- 4 ○相補性
：性格・考え方・生活環境などが、自分とは違う。

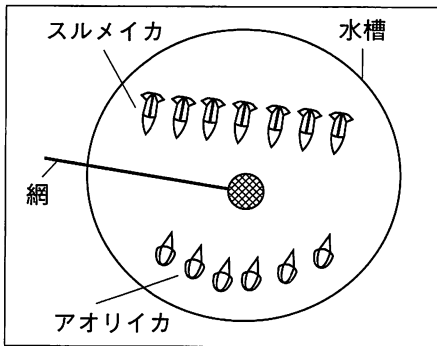
(山岸俊男『徹底図解 社会心理学』新星出版社 を参考に作成)

10番

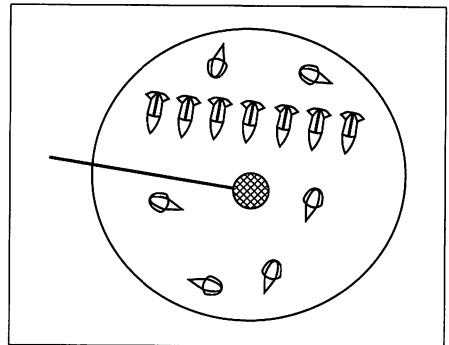
先生が、二種類のイカの習性について話しています。この先生が行った実験の結果を表している図はどれですか。

10

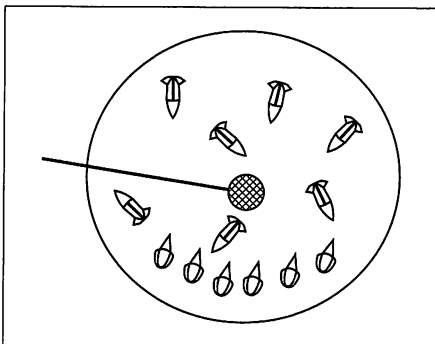
1.



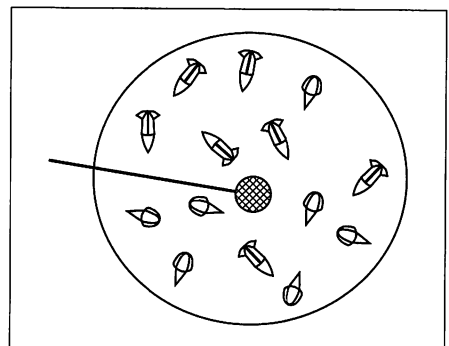
2.



3.



4.



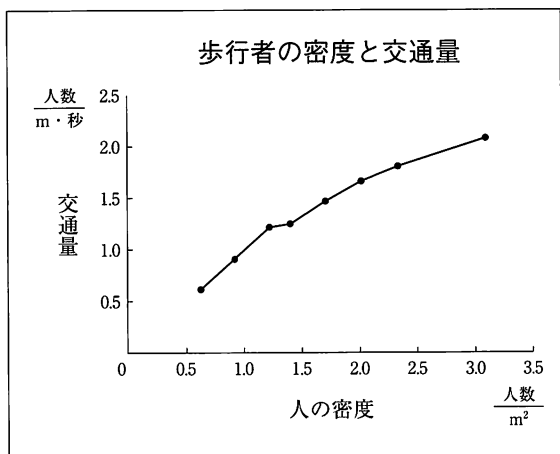
(池田譲『イカの心を探る』NHK出版 を参考に作成)

11番

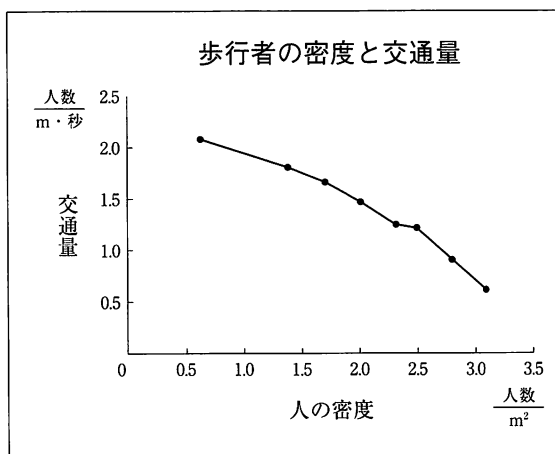
先生が授業で、歩行者の交通量について話しています。この先生の話グラフで表すと、どのようになりますか。

11

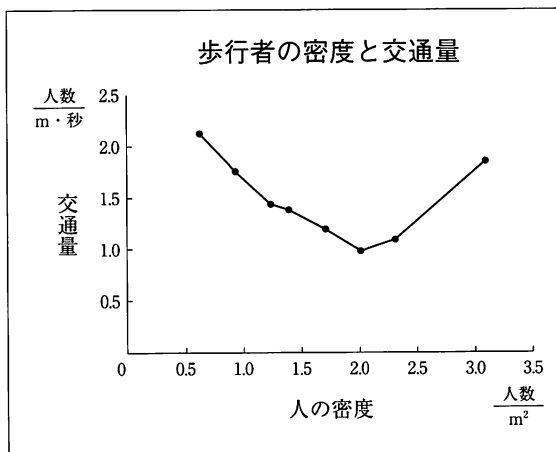
1.



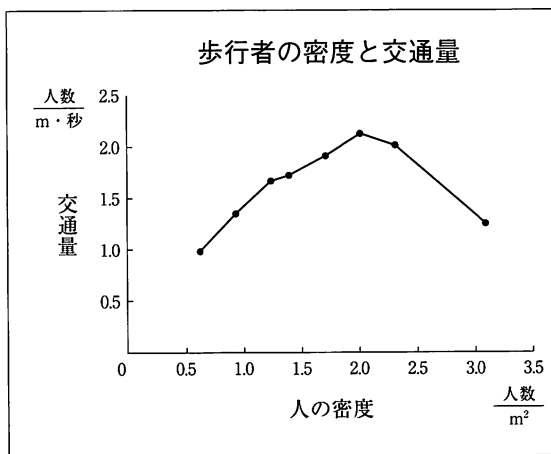
2.



3.



4.



(西成活裕『とんでもなく役に立つ数学』朝日出版社 を参考に作成)

12番

先生が、スポーツ科学の授業で、認知について話しています。この先生が最後に指し示している図はどれですか。

12

＜自己に対する認知モデル＞

図1

	自分が 気づいている部分	自分が 気づいていない部分
相手が 気づいている部分	a	b
相手が 気づいていない部分	c	d

(高畑好秀『試合に勝つためのスポーツ・メンタルトレーニング』ナツメ社 を参考に作成)

1.

a	b
c	d

2.

a	b
c	d

3.

a	b
c	d

4.

a	b
c	d

——— このページには問題はありません。 ———

平成25年度日本留学試験(第2回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を341, 342ページに掲載

読解			
問	解答欄	正解	
I	1	2	
II	2	4	
III	3	1	
IV	4	1	
V	5	2	
VI	6	3	
VII	7	1	
VIII	8	4	
IX	9	4	
X	10	3	
XI	問1	11	3
	問2	12	4
XII	問1	13	4
	問2	14	3
XIII	問1	15	4
	問2	16	3
XIV	問1	17	1
	問2	18	2
XV	問1	19	4
	問2	20	4
XVI	問1	21	1
	問2	22	3
XVII	問1	23	2
	問2	24	1
	問3	25	1

聴読解			聴解		
問	解答欄	正解	問	解答欄	正解
1番	1	2	13番	13	1
2番	2	3	14番	14	1
3番	3	2	15番	15	1
4番	4	3	16番	16	3
5番	5	4	17番	17	1
6番	6	4	18番	18	3
7番	7	2	19番	19	2
8番	8	2	20番	20	1
9番	9	4	21番	21	1
10番	10	3	22番	22	2
11番	11	4	23番	23	3
12番	12	3	24番	24	3
			25番	25	4
			26番	26	4
			27番	27	4

「記述」問題解答例 ①

名前を出さずに発信することについては、	20
批判的な意見がよく聞かれる。それは、自分	40
が発信する意見や情報について責任を問われ	60
ないことを利用して、悪質な嫌がらせをする	80
人や、詐欺などの罪を犯す人がいるからであ	100
る。また、信頼できない情報が広範囲に流さ	120
れ、さまざまな混乱が起きることもある。	140
しかし、名前を公表せずに発信すること	160
もメリットはある。それは、発信者が自分の	180
身分や社会的立場を気にしないで、自由に意	200
見や考えを述べることができるということ	220
ある。どこで、だれが見ているかわからない	240
のに、ネット上に名前を公表して自由に思っ	260
たままに書くということは、自分に自信があ	280
り、社会的にも強い立場にある人でもない限	300
り、難しいのではないかと思う。また、名前	320
を出すとき大きな問題になってしまう悩み相談	340
においても、名前を隠して相談すれば、いろ	360
いろな人から意見をもらうことができる。	380
以上のことから、私は、名前を出さずに発	400
信することは、一概に悪いとは思わない。た	420
だし、それには、ネットを使う上でのマナー	440
を徹底することが必須である。それは、名前	460
を出すにしても隠すにしても、自分の発信に	480
は、責任を持つということである。	500

「記述」問題解答例 ②

学校は、基本的に子供たちに知識を与える	20
ために存在している。たとえば、文字の読み	40
書きや計算の仕方、基本的な科学や社会の知	60
識等である。それらは子供たちが社会生活を	80
送る上で必要不可欠なものであり、知識を与	100
える教育には大きな意義がある。	120
しかしながら、情報技術等の発展により、	140
現代社会においては、だれもが比較的簡単に、	160
必要な時に必要な知識にアクセスできるよう	180
になった。そのため、「知識を持っている」	200
ことの価値は以前より低くなったと言わざる	220
を得ない。そういった点から考えると、現代	240
社会の学校の役割として、知識をどのように	260
使うべきか、それを教えることも必要になっ	280
てきているのだ。与えられた知識を記憶して	300
おくことよりも、知識の活用方法を学ぶこと	320
が大事になってきていると私は考える。	340
知識を活用するには、論理的思考や批判的	360
思考が必要になる。また、道徳や倫理観も必	380
要だろう。	400
つまり、学校教育において知識を与えるこ	420
とに利点はあるが、それだけに偏った教育は	440
問題だ。知識を与えるだけでなく、その活用	460
方法も教えることが現代社会の学校教育にお	480
いては求められている。	500

「記述」採点基準

「記述」の採点にあたっては、以下の基準に基づき採点し、得点を表示します。

得点	基準
50点	(レベルS) 課題に沿って、書き手の主張が、説得力のある根拠とともに明確に述べられている。かつ、効果的な構成と洗練された表現が認められる。
45点	(レベルA) 課題に沿って、書き手の主張が、妥当な根拠とともに明確に述べられている。
40点	かつ、効果的な構成と適切な表現が認められる。
35点	(レベルB) 課題にほぼ沿って、書き手の主張が、おおむね妥当な根拠とともに述べられている。
30点	かつ、妥当な構成を持ち、表現に情報伝達上の支障が認められない。
25点	(レベルC) 課題を無視せず、書き手の主張が、根拠とともに述べられている。しかし、その根拠の妥当性、構成、表現などに不適切な点が認められる。
20点	
10点	(レベルD) 書き手の主張や構成が認められない。あるいは、主張や構成が認められても、課題との関連性が薄い。また、表現にかなり不適切な点が認められる。
0点	(NA)* 採点がなされるための条件を満たさない。

レベルA, B, Cについては、同一水準内で上位の者と下位の者を区別して得点を表示する。

*0点 (NA) に該当する答案は以下のとおりである。

- 白紙である。
- 課題文をそのまま書いた部分を除いて、日本語で書かれた部分が40字に満たない。
- 与えられた課題（1と2）の両方に解答している。
- 課題文をそのまま書いた部分を除くと、与えられた課題（1と2）のうち、どちらについて書かれているか判断できない。
- 問題冊子の表紙等、課題と関係のない文章を引き写している。
- その他、委員会の議を経て、0点とするに至る理由があると判断されたもの。